

III 委員会活動

医療安全会議

文責／中基 昭

◎目的

安全で信頼される医療を円滑に遂行できるよう、日々の業務での問題点などの報告制度を作り、その内容を吟味しながら医療事故の発生予防に努める。

◎メンバー (2021.3現在)

委員長：中基 昭(診療部)

診療部：遠山正博、横瀬 節、遠山和博

医療技術部：

(薬剤科)渡邊典子、長尾明美

(レントゲン室)渡邊由美子

(リハビリテーション室)菅原直彦

(臨床検査室)前田淑江

(栄養給食科)及川野絵子

健診部：吉岡千晶

看護部：伊藤恵美、青木富士子、篠澤慶子、

加藤真理子、青木時枝、西巻京子、中基和枝、
菊池美奈子

事務部：大木勇司、成田 薫、加藤昌宏、佐野香苗、
山田陽子、林 隆広、井手俊郎

佐倉ホワイエ：香取文男

厚生園訪問看護ステーション：林 桂子

厚生園ケアマネジメントセンター：高橋隆彦

◎開催日

第3月曜日、午後0時45分

◎活動報告

1. 院内の出来事報告書の提出促進を図り、定期的ヒアリングを実施。2020年度報告書の全例検討、会議内報告を行った。また職員間で医療安全上、必要な項目の情報共有を図り、周知事項の徹底とマニュアル作成を含めた具体的対策を行った。

2. 研修会開催

安全で適切な信頼される医療を遂行するため、研修会を開催した。

・内部講師による研修会：

「危険予知トレーニング」(2回/年)

医療現場における危険な状況や環境を早めに察知し、リスクを軽減する研修。

◎今後の目標

1. 診療部、医療技術部、看護部など、院内全体の部署で共通のマニュアルを充実させ、医療事故防止対策を進める。

2. 院内研修会の開催や外部研修会の参加などを通し、その成果を医療安全に生かせるような体制づくりを目指す。

褥瘡対策委員会

文責／圓城寺美佳

◎目的

当院における院内褥瘡対策を討議・検討し、その効率的な推進を図る

◎メンバー (2021.3現在)

委員長：圓城寺美佳(看護部)

副委員長：高田美里(診療部)、藤井尚美(看護部)

医療技術部：

(薬剤科)永井麻紀、本澤葉留美

(リハビリテーション室)大芦恵太、松村咲希

(栄養給食科)及川野絵子、酒井由貴、池浦あゆみ

看護部：若松香寿美、中條優子、細根ふさ子、

佐野真弓、萩原真喜子、周 蒙、杉山緋登美、
上原亜希子、川田利枝、杉山緋登美、

永井左和子、米嶋いつ子、慮 蕊蕊、吉田博子

事務部：鈴木弘子

厚生園訪問看護ステーション：山口美穂

佐倉ホワイエ：宮内美子、細島ひさゑ

◎開催日

第3水曜日、午後1時

◎活動報告

1. 褥瘡の予防対策、状態把握と評価

①発生リスクアセスメント

②褥瘡患者の評価

③NSTチームとの協働

④褥瘡の知識、レベルの向上

2. 研修会参加

〔院内〕

2021.3.29「褥瘡に関する外用薬について」

2021.3.30「スキンケアを心掛けてスキンケアを予防しよう！」

3. 褥瘡治療実績(2020.4.1~2021.3.31)

褥瘡件数【内訳】持込件数 23件(14人)

院内発生 6件(6人)

治癒 22件(前年度繰越2件含む)

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

退院(未治癒) 7件
次年度繰越 4件

◎今後の目標

院外研修会への参加を継続する。また、院内研修の回数を増やし、褥瘡分野に関する知識を深めながらケアの向上に努めていく。

回復期リハビリテーション病棟運営委員会

文責/菅原直彦

◎目的

- ・全ての患者がより良いリハビリテーションを受けられるよう、回復期リハビリテーション病棟の質の向上を図る。
- ・医療専門職が共同でチームを組み、患者が退院後に帰宅してからの生活を見据えて、入院時からチームでサポートする。

◎メンバー (2021.3現在)

委員長：菅原直彦(医療技術部)

診療部：遠山正博、佐久間伸介、遠山和博

医療技術部：

(薬剤科)本澤葉留美、永井麻紀

(栄養給食科)及川野絵子

(リハビリテーション室)佐藤 光、高橋健次、
小林宏彰、古谷直子

看護部：伊藤恵美、青木富士子、中臺和枝、印南里子

事務部：山田陽子、松村 研、佐野香苗

◎開催日

第2水曜日、午後3時

◎活動報告

2020年回復期データ報告

- ・ベッド稼働率96%
- ・入院患者数：全体212人

【内訳】

脳血管疾患115人/整形疾患87人/廃用疾患10人

・入院日数

脳血管疾患95日/整形疾患60.3人/廃用疾患64日

・在宅復帰率86.2%

・重症者比率63.4%

・患者1人1日あたりの平均単位数：7.37単位(昨年度7.02単位)

・アウトカム実績指数

【月別内訳】

2020年4月42.1/7月42.7/10月43.0/1月45.3

【疾患別内訳】

脳血管疾患57.0/整形疾患39.1/廃用疾患 該当者なし

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響にて十分な退院支援が行えなかったが、入院日数が脳血管疾患95日、整形疾患60日、廃用疾患64日という結果になった。2019年度とほぼ同日数になったことは十分な成果であった半面、感染対策により家屋訪問調査・家族指導する機会がなくなったことで、介助するご家族の負担が増してきている。現在、家族指導については書面などで対応しているが書面だけではご家族が理解しきれないのが現状である。このような問題に対応するため、感染対策をしながら家屋調査が行えるよう調整を進めてきた。家族健康観察票(家屋訪問調査当日までの2週間、ご家族の体温チェックの記入)を作成し、運用開始できる準備が整った。

2020年度の年間の獲得総単位数が2019年度と比較して10,600単位の増加とともに、リハビリ収益も1,000万円の増収となった。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症関連による面会制限やカンファレンスの回数減少、患者の外出泊禁止、家屋訪問調査を行えなかったのと引き換えに、リハビリ介入の時間が増えたからであるとする。

◎今後の目標

2021年度も新型コロナウイルス感染症関連により様々な制限が予想される。感染対策をしっかりと講じた上で、患者やその家族が在宅復帰するにあたり不安がないよう退院支援の質の向上を図っていききたいと考える。また2020年度同様の収益の獲得を図っていききたい。

療養病棟運営委員会

文責/中臺 昭

◎目的

各職種スタッフが療養病棟内で円滑で効率よい診療ができるよう、各部門や職種間および訪問部門とともに情報共有・部門間連携を行っていく。

◎メンバー (2021.3現在)

委員長：中臺 昭(診療部)

医療技術部：

(薬剤科)渡邊典子

(リハビリテーション室)足立明久、佐藤 光、
安東晋介

(栄養給食科)酒井由貴

看護部：伊藤恵美、青木富士子、篠澤慶子、

加藤真理子、青木時枝、西巻京子、印南里子、
菊池美奈子

事務部：山田陽子、吉井大仁

厚生園訪問看護ステーション：林 桂子

厚生園ケアマネジメントセンター：高橋隆彦

◎開催日

第3木曜日、午後1時

◎活動報告

・療養病棟の病床稼働率、日当点、医療区分割合など会議前の稼働状況を関連部門より報告を受け、問題点を

検討した。

・療養病棟内でより円滑に業務を遂行し、高い稼働率の維持と効率よい診療ができるよう、在宅の病院関連部門と連携を取りながら、関連部門と各職種間の調整をした。

◎今後の目標

療養病棟における診療上の課題を明らかにし、効率的で高稼働率を図りながら、より良い診療および経営上健全な医療を目指す。

院内感染対策委員会

文責／中基 昭

◎目的

院内の感染予防のため、必要なサーベイランスを行いながら、感染対策に必要な情報や技術を共有し、各メンバーが情報や技術を十分取得するとともに、スタッフ、入院患者、来訪者に情報を伝達できるよう、マニュアルの整備、掲示、研修会等を充実させる。

◎メンバー（2021.3現在）

委員長：中基 昭(診療部)

診療部：遠山正博、佐々木憲裕、高田美里

医療技術部：

(薬剤科)渡邊典子、本澤葉留美

(レントゲン室)渡邊由美子

(リハビリテーション室)菅原直彦、足立明久、
前田泰宏

(臨床検査室)前田淑江、前川名緒子

(栄養給食科)池浦あゆみ

看護部：伊藤恵美、青木富士子、清治恵子、篠澤慶子、
加藤真理子、青木時枝、西巻京子、中基和枝、
菊池美奈子

事務部：大木勇司、加藤昌宏、山田陽子、林 隆弘、
飯島智恵子、佐野香苗、鈴木咲子、遠藤友美

佐倉ホワイエ：坂本悦子

厚生園訪問看護ステーション：太田路代

◎開催日

第2月曜日、午後1時

◎活動報告

1. 院内感染の状況の把握および分析、情報の管理、提供
 - ①MRSA・緑膿菌・インフルエンザ・感染性胃腸炎等を対象とし、上記感染症のレポートを作成した。
 - ②週1回、全病棟のICTラウンドを義務付けし、効率

よく効果的な巡視ができるように尽力した。

③新型コロナウイルス感染症の予防対策、院内発生を想定した院内体制の構築シミュレーション等を行い、感染症の院内発生の予防と発生時の体制作り注力した。

2. 院内および外部からの院内感染防止に関する情報の収集、整理、分析、提供

当院では成田赤十字病院ほか6病院と院内感染対策に係わる連携合同カンファレンスを行っている。主にICTメンバーが参加し、成田赤十字病院開催の研修会や院内感染に関するディスカッションを行った。

3. 院内職員に対する院内感染防止のための教育、研修、啓蒙活動

①研修会や勉強会の開催、定時(委員会開催時)および随時必要情報の配布

②研修会開催

【全職員対象】

- ・「感染症の基礎知識と感染防止の基本」
- ・「感染予防に役立つ消毒・感染防止の基礎知識」
- ・「院内肺炎—嚥下性肺炎を中心に—」
- ・「インフルエンザ、感染性胃腸炎など冬季感染症の基礎知識と感染対策」

【新人対象】

- ・「院内感染の基礎知識と感染防止の基本について」(2回/年)

◎今後の目標

1. アウトブレイクの予防、早期発見、対応および早期終息できる体制作りを目指す。
2. 院内感染予防のため、職員の抗体検査と予防接種ができるよう環境を充実させる。

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

◎目的

- ①院内多職種職員の職務上の知識の研鑽を促し知識に精通できるように研修会を企画し実施する。
- ②医療・研究を推進し学会発表につなげる。
- ③教育・研究を通じて信頼される医療・看護の提供が出来るようにする。

◎メンバー（2021.3現在）

委員長：篠澤慶子(看護部)

診療部：中基 昭(副委員長)、遠山和博

医療技術部：

(薬剤科)渡邊典子(副委員長)、本澤葉留美

(リハビリテーション室)佐藤 光、内海哲也

事務部：江藤朋博、檜貝修之、高橋亜佐美、遠藤友美、飯島智恵子

佐倉ホワイエ：平澤三枝子

◎開催日

第4木曜日、午後0時45分

◎活動報告

- 1.各部署より提出された研修会年間計画のもと、日程調整を行う。研修会主催者は事務室に設置した研修会予定表へ記載を行う。
- 2.研修会の開催案内を各部署に配布し、職員閲覧場所に

掲示する。

- 3.研修会終了後、アンケートを回収・分析し、随時研修会の開催依頼を行う。
- 4.教育研修規定の見直しを行う。
- 5.全職員へ研修受講カードを配布し、研修会参加時はカードを持参することとする。年間で多く出席した職員を報奨する。クリスマス会にて上位10位に表彰状、図書カードを授与。
- 6.教育研修委員会主催による「新人職員研修会」を年2回(4月/10月)開催。
- 7.研修内容
「接遇」「医療安全」「院内感染」「就業規則」2020年度研修会実施報告は下記を参照。

◎今後の目標

- 1.佐倉厚生園病院職員としての質を高めるため、さらに充実した研修会を企画する。
- 2.今後も公益財団法人事業の一事業所として、外部団体等主催の学会等での発表技術向上に向けて、外部講師を招くなど院内研修を充実させる。
- 3.研修会受講カードを発行し、研修会参加人数の増員を図る。

●2020年度 院内研修実施一覧表

番号	開催日	テーマ (内容)	演者 (発表者)	参加者 人数 合計
1	2020.4.9	新人研修～接遇～	伊藤恵美	8
2	2020.4.10	新人研修～就業規則Ⅰ～	鈴木咲子、原田一樹	8
3	2020.6.1	基本的な感染予防の方法	榎本奈々	11
4	2020.6.5	夜間の緊急対応について	看護部教育委員	38
5	2020.6.8	看護学生を受け入れる心構え	山本清美	32
6	2020.6.23	施設への退院にむけてインスリンから内服薬に切り替えた症例	渡邊典子	12
7	2020.6.29	感染症の基礎知識と感染予防の基本	中基 昭	136
8	2020.7.7	医療チームの一員として働く看護補助者業務の理解	伊藤恵美	19
9	2020.7.11	第1回「研究の基礎の基礎」	東京情報大学 藤井博英	36
10	2020.7.13	伝わるプレゼンテーション	田邊智和	30
11	2020.7.14	医療チームの一員として働く看護補助者業務の理解	伊藤恵美	15
12	2020.7.17	医療チームの一員として働く看護補助者業務の理解	伊藤恵美	17
13	2020.7.25	糖尿病教室		3
		糖尿病合併症2020	佐々木憲裕	
		糖尿病の運動療法～自宅で行える自主トレーニング～	清水敬之	
14	2020.7.27	日常生活に関わる業務・快適安心ケアについて	平沢 聡、露口直美	14
15	2020.7.28	血糖コントロール困難な77歳女性	佐々木憲裕	14
16	2020.7.29	院内肺炎(NHCAP)－嚥下性肺炎を中心に－	高田美里	127
17	2020.8.4	医療チームの一員として働く看護補助者業務の理解	伊藤恵美	9
18	2020.8.14	看護者・介護者の基本的姿勢と態度	印南里子	28
19	2020.8.25	当院入院歴のある踵に褥瘡を持つ糖尿病症例	太田路代	0

番号	開催日	テーマ (内容)	演者 (発表者)	参加者 人数 合計
20	2020.8.31	感染予防に不可欠な消毒・感染防具の基礎知識の習得	前田淑江、本澤葉留美	93
21	2020.9.4	「老年ケア実践」実習受け入れの心構え	青木富士子	31
22	2020.9.7	医療安全の重要性を知る	酒和昭子	17
23	2020.9.8	基本的な感染予防の方法	榎本奈々	28
24	2020.9.11	認知症ケア	加藤真理子	28
25	2020.9.14	看護者・介護者の基本的姿勢と態度	印南里子	13
26	2020.9.28	医療安全の重要性を知る	酒和昭子	11
27	2020.9.28	第1回佐倉薬剤師ネットワーク研修会 「ネットワーク発足にあたり」他	佐倉薬剤師ネットワー ク他	37
28	2020.9.29	施設への退院のための自己注射指導を行った症例	永井左和子	13
29	2020.10.2	ラインケア研修会「集団分析結果報告・ハラスメント教育 ～」	㈱ドクタートラスト 吉尾清乃	68
30	2020.10.5	新人研修～院内感染～	中基 昭	10
31	2020.10.6	新人研修～医療安全～	酒和昭子	9
32	2020.10.8	新人研修～接遇～	伊藤恵美	10
33	2020.10.9	新人研修～就業規則～	原田一樹	7
34	2020.10.9	チームナーシング看護方式導入への理解	伊藤恵美	31
35	2020.10.12	看護者・介護者の基本的姿勢と態度	印南里子	14
36	2020.10.13	医療安全の重要性を知る	酒和昭子	13
37	2020.10.19	基本的な感染予防の方法	榎本奈々	28
38	2020.10.20	セルフケア研修会		80
39	2020.10.23	「逆境・トラブル・ストレスに強くなる！マッチョなメン タルの作り方」	㈱ドクタートラスト 吉尾清乃	77
40	2020.10.26	日常生活に関わる業務・快適安心ケアについて	平沢 聡、露口直美	8
41	2020.10.27	インスリン強化療法からインスリン1回打ちへ	佐々木憲裕	19
42	2020.10.27	医療安全の重要性を知る	酒和昭子	11
43	2020.11.6	手指衛生の教育的介入の効果、身体拘束に対する意識調 査と拘束解除に至る要因、回復期リハビリテーション病 棟における転倒・転落予防対策の意識調査と改善方法の 検討	浦 夏子、宮本貴枝、 佐野真弓	46
44	2020.11.9	基本的な感染予防の方法	榎本奈々	17
45	2020.11.10	経腸栄養関連コネクタ製品の切り替え対応について	及川野絵子	6
46	2020.11.10	看護者・介護者の基本的姿勢と態度	印南里子	14
47	2020.11.14	佐倉厚生園グループ研究発表会2020年度	大橋祐子・宮本貴枝 佐野真弓・佐藤 光 宮内美子	115
48	2020.11.24	糖尿病症例検討会	藤井尚美、酒井由貴	16
49	2020.11.27	令和2年冬季感染症～感染予防と対策～	前田淑江、本澤葉留美	89
50	2020.11.30	日常生活に関わる業務・快適安心ケアについて	平沢 聡、露口直美	11
51	2020.12.11	療養病棟の入院と医療区分	青木富士子、吉井大仁	27
52	2020.12.18	手指衛生について	榎本奈々	24
53	2020.12.19	糖尿病教室		8
		糖尿病の治療法～合併症の予防～	佐々木憲裕	
		楽しく学ぼう～少人数かるた～	若松香寿美・永井左和 子	
54	2020.12.22	糖尿病症例検討会	鈴木光江・北野通子	18
55	2021.1.6	生体モニターの使用方法	㈱フクダ電子 近藤知己	40
56	2020.1.25	手指衛生について	榎本奈々	21
57	2021.1.25	日常生活に関わる業務・快適安心ケアについて	平沢 聡、露口直美	7
58	2021.1.26	新人看護職員研修「基本姿勢と態度」	印南里子	4
59	2021.1.26	糖尿病症例検討会	佐々木憲裕	9
60	2021.2.5	Covid19の基礎知識と感染防止、ワクチンについて	中基 昭	35
61	2021.2.12	輸液ポンプの取り扱い方	㈱TOP 森田知樹	6
62	2021.2.16	脳梗塞発症からトルリシティ導入へ	鳥澤莉菜	16
63	2021.2.22	日常生活に関わる業務・快適安心ケアについて	平沢 聡、露口直美	8

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

番号	開催日	テーマ (内容)	演者 (発表者)	参加者 人数 合計
64	2021.2.24	看護研究のはじめ方	遠山和博	25
65	2021.3.1	新型コロナワクチンとは？	永井麻紀	72
66	2021.3.2			78
67	2021.3.3			76
68	2021.3.4			50
69	2021.3.5			52
70	2021.3.12	人工呼吸器の取り扱い方	日本光電工業(株)	20
71	2021.3.19	ERによるカンファレンス用紙入力手順	鳥羽裕子	21
72	2021.3.22	日常生活に関わる業務・快適安心ケアについて	平沢 聡、露口直美	2
73	2021.3.27	糖尿病の運動療法～屋外ウォーキング～	清水敬之	3
74	2021.3.29	褥瘡に関する外用薬について	本澤葉留美	29
75	2021.3.30	スキンケアを心掛けてスキンケアを予防しよう！	圓城寺美佳	35

サービス向上委員会

文責／渡邊典子

◎目的

サービス向上委員会は、当院を利用される全ての方々に、より良い療養環境のもとで安心、安全、快適なサービスを提供できるよう、患者満足度調査や職員満足度調査を行い、対象者から挙げられたサービス向上のための意見・苦情などを収集・集約し、それに対する改善策やサービス向上策の企画・立案・実施をして、園議に答申することを目的とする。

◎メンバー（2021.3現在）

委員長：渡邊典子(医療技術部)

診療部：佐久間伸介

医療技術部：田代浩之、菅原直彦、田邊友美

健診部：福田日和

看護部：青木富士子、印南里子、菊池美奈子、
西巻京子、八百板克幸

事務部：田村千佳子、原田一樹

◎開催日

第2火曜日、午後0時45分

◎活動報告

2020年4月、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により、委員会開催の自粛を余儀なくされ、当委員会は4月、5月を休会とし、6月から活動を開始した。例年、患者満足度調査を実施していたが、今年度の実施は困難と判断した。

送迎バスの運行見直しについては、運行の便数やルー

ト等の意見を取りまとめた。「白銀便は受診時間とバスの便の時間が合わない」「利用者が少ない」「朝夕の便は感染対策のため職員専用とする」「乗車人数が増えると有益である」「実習生や職員採用に対してのバス利用は有効」などの意見を上申した。

昨年度の目標であった職員満足度調査の実施は、患者満足度調査同様、今年度は見送ったものの、今後のコロナ禍での実施方法について協議した。

5年前の職員満足度調査の振り返りを行い、改善済みのものと未改善のものに整理した。その際、各部署の委員会メンバーが個別にヒアリングし、それぞれの意見を集約した。改善の優先度を協議し、優先度の高いものは、園議・衛生委員会に報告した。なお、報告の内容は職員更衣室の改修(床の腐食・カビの発生など)、病院内の壁紙(汚れ・カビ・はがれなど)、病棟内の個室のトイレ(扉により介助が難しい)、病院内で使用している椅子の老朽化(座面の劣化等により腰痛の発生が起きている)などである。

◎今後の目標

新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、患者満足度調査の実施を行う。調査の結果を取りまとめ、患者サービスの向上を目指す。一方、今後も職員満足度調査であがった意見については対応し、職員の働きやすい職場環境を目指す。患者・職員ともにサービス向上につなげたい。

NST委員会

文責／永井麻紀

◎目的

患者の栄養状態の改善を図り治療効果を高めるために、多職種が連携し、栄養障害の早期発見・早期介入を行うことで、栄養状態の早期改善を目指すことを目的と

している。

◎メンバー（2021.3現在）

委員長：永井麻紀(医療技術部)

診療部：高田美里

医療技術部：及川野絵子、酒井由貴、佐藤 光、
石川 修、渡邊聡子、太田智子、岸本恵美
看護部：圓城寺美佳、若松香寿美、佐野真弓、
加賀谷裕子、荻原真喜子、三浦雪子、
永井左和子、米嶋いつ子
事務部：鈴木弘子

◎開催日

第1水曜日、午後1時

※新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により、委員会開催を自粛し、当委員会は2020年5月、2021年2月、3月を休会、4月、5月の回診を休止した。

◎活動報告

1.入院患者の栄養評価、栄養管理の指導・提言を行った。
毎月、全入院患者を対象に栄養スクリーニングを行った。さらに週1回、栄養障害の疑われる患者に対し、栄養回診・症例検討を行い、栄養障害の問題点を明確にしたうえで、適切な栄養療法の指導、提言を行った。また患者限定栄養剤を使用中の患者に対しては、栄養状態の確認および継続の可否を検討、提案した。

【2020年度NST回診実績】

NST回診人数：新規14名、継続45名、終了14名
NST回診件数：療養病棟29件、回復期リハビリ病棟44件

- 2.日本臨床栄養代謝学会「NST稼働施設認定」の更新。
- 3.褥瘡対策委員会と協働し、褥瘡のある患者に対し、適切な栄養療法の提案を行った。
- 4.管栄養製品の接続コネクタの変更について、円滑な変更が行えるよう、栄養給食委員会と協働し、対象部署への情報提供を行った。また変更に関するトラブルと対策に関する情報の共有を行った。

- 5.NST勉強会を定期的に開催し、病院スタッフの栄養療法に対する知識の普及・指導を行った。
「体重からわかること」酒井由貴 2020.8.5
「MNAについて」酒井由貴 2020.9.2
「CONUTについて」酒井由貴 2020.10.7
「経管栄養製品の接続コネクタの変更について」(株)トップ 2020.12.2
- 6.学会・研修会・実習の参加
「第3回NST専門療法士更新必須セミナー」及川野絵子 2020.10.12
- 7.認定資格
「TNT修了」(日本臨床栄養代謝学会)高田美里
「栄養サポートチーム専門療法士」(日本臨床栄養代謝学会)永井麻紀、及川野絵子、太田智子
- 8.NST教育セミナー研修受講終了
「NSTセミナー」(日本病態栄養学会)圓城寺美佳
「NST専門療法士受験必須セミナー」(日本臨床栄養代謝学会)酒井由貴、佐藤 光

◎今後の目標

- 1.栄養障害の早期発見、NSTの早期介入を行うことで、栄養状態の早期改善を目指す。
- 2.褥瘡対策委員会と連携を図り、治療効果を上げる。
- 3.日本臨床栄養代謝学会「NST稼働施設認定」の継続を目指す。
- 4.積極的に栄養に関する学会や研修会に参加し、NST委員の知識の向上を図る。
- 5.院内研修会や勉強会を定期的に開催し、全職員の栄養療法に対するモチベーションとスキルアップを目指す。
- 6.NSTに関する研究介入し、その成果をまとめ、学会等で発表を行う。

糖尿病教育チーム

文責／佐々木憲裕

◎目的

外来・入院の糖尿病患者の教育および治療支援と糖尿病患者に関連した家族のサポート

◎メンバー (2021.3現在)

委員長：佐々木憲裕(診療部)

医療技術部：

(薬剤科)渡邊典子、長尾明美、本澤葉留美
(リハビリテーション室)菅原直彦、清水敬之
(臨床検査室)：前田淑江
(栄養給食科)及川野絵子、酒井由貴、池浦あゆみ
(歯科衛生士)岸本恵美

看護部：藤井尚美、田中香織、鈴木光江、石井明香、
若松香寿美、鈴木美保、廣瀬可恵、北野通子、

鳥澤莉菜、杉山緋登美

事務部：原田一樹

厚生園訪問看護ステーション：太田路代

◎開催日

毎月最終火曜日の糖尿病症例検討会開催日

毎月最終土曜日の糖尿病教室開催日

なお糖尿病診療会議は隔月第4火曜日

◎活動状況

2型糖尿病は年々増加しており、高齢になればなるほど糖尿病となる頻度が増加している。糖尿病治療は、医師のみならず、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、管理栄養士、歯科衛生士、看護師、事務職など各職種との連携によるチーム医療が必要である。これらの部門による

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

糖尿病教室を月1回開催し、糖尿病患者の生活をサポートしている。これは患者および家族の啓蒙とモチベーションを維持するような活動となっており、2012年9月に始めて以来2021年3月までに延べ798名に参加していただいた。調理実習、ウォーキングなどの実践活動も行っている。特に高齢者は薬物の自己管理は困難であり、家族が同居していない場合などは訪問診療、訪問看護、訪問薬剤指導などチームでのサポートが重要になる。近年は糖尿病治療の進歩により24時間持続血糖測定機器FGMなどの新しい検査法や新しい治療薬も使用できる

ようになり、よりよい血糖コントロールを得られるようになってきた。それらを適切に利用し、患者が楽に適切な治療を受けられるように工夫している。現在、糖尿病療養指導士(CDE)としてはCDE-Japan2名、CDE-Chiba2名を有し、活躍している。またスタッフの勉強会として月1回糖尿病症例検討会を開いている。

◎今後の目標

ホームページを活用しながら、地域の医療機関や患者家族との連携を図り患者に沿った治療を展開したい。

院内連絡会

文責／遠山正博

◎目的

院内重要連絡事項を、全職員にもれなく伝達する。

◎メンバー（2021.3現在）

委員長：遠山正博

診療部：常勤医師

医療技術部：各課(科)長

看護部：部長、副部長、各病棟／外来師長

事務部：部長、次長、各課長

佐倉ホワイエ：事務長

厚生園訪問看護ステーション：所長

厚生園ケアマネジメントセンター：管理者

◎開催日

第1月曜日、午後1時

◎活動状況

1. 佐倉厚生園病院に加え、厚生園グループ(佐倉ホワイエ、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所)の責任者が集まり、病院の基本的経営方針や伝達事項を職員全員に伝達した。

2. 各部署からの連絡事項を伝達した。

◎今後の目標

病院からの日常情報をもれなく職員に伝達する。

診療会議

文責／遠山正博

◎目的

佐倉厚生園病院の診療に関する委員会より、活動報告を受け検討、統括する。

◎メンバー（2021.3現在）

委員長：遠山正博

診療部：常勤医師

医療技術部：各課(科)長

看護部：部長、副部長、各病棟・外来師長

事務部：部長、次長、各課長

厚生園訪問看護ステーション：所長

委員会(委員長)：

薬事審議委員会、

回復期リハビリテーション病棟運営委員会、

療養病棟運営委員会、外来運営委員会、

ドック健診委員会、入院判定委員会、

褥瘡対策委員会、栄養給食委員会、NST委員会、

診療録管理委員会、保険査定返戻検討委員会、

診療記録等開示委員会、倫理・研究・諮問委員会、

個人情報保護推進委員会

◎開催日

第1月曜日、午後1時

◎活動報告

各委員会より活動報告を受け、診療活動の適正を検討した。

◎今後の目標

病院の診療に関する問題点を発見し、改善していく。

病院機能推进会議

文責／遠山正博

◎目的

病院機能向上に関する各委員会より活動報告を受け、協議する。

◎メンバー（2021.3現在）

委員長：遠山正博

委員会（各委員長）：

- 教育・研修委員会、サービス向上委員会、
- 広報・ホームページ運用委員会、
- 臨床検査適正化委員会、システム管理検討委員会、
- グループ連携・地域連携委員会、衛生委員会、

物品購入(予算)委員会、帳票管理委員会

◎開催日

第1月曜日、午後1時

◎活動状況

各委員会の活動を通して、病院の機能向上の取り組みについて協議した。

◎今後の目標

1. 病院の機能に関する問題点を発見し、改善していく。
2. 地域住民に佐倉厚生園病院を信頼・安心して利用していただけるよう、機能の向上に努める。

収支改善経営会議

文責／遠山正博

◎目的

各月の収支状況を発表し、改善策を検討する。

◎メンバー（2021.3現在）

委員長：遠山正博

診療部：常勤医師

健診部：部長

医療技術部：各課(科)長

看護部：部長、副部長、各病棟・外来師長

事務部：部長、副部長、各課長

佐倉ホワイエ：事務長

厚生園訪問看護ステーション：所長

厚生園ケアマネジメントセンター：管理者

◎開催日

第4月曜日、午後1時

◎活動状況

1. 外部コンサルタントを交えて佐倉厚生園病院グループの活動収益、必要経費を報告しあい、問題点の検討と改善策を検討し、管理職には経営意識の共有を求めた。
2. 入退院状況の検討、稼働率向上の改善策を検討した。

◎今後の目標

佐倉厚生園病院グループの経営の安定と健全化を求める。

その他委員会・会議

会議・委員会			
名称	委員長 (所属部署)	目的	開催日
薬事審議委員会	渡邊典子 (医療技術部)	・医療を行う上で必要な医薬品、血液製剤等の情報を提供し、医薬品の適正使用の推進と診療の質の向上を図ることを目的とする。 ・医薬品の供給体制について情報提供する。 ・ポリファーマシーについて検討する。 ・院内採用医薬品の検討を行う。	第2月曜日
保険査定返戻検討委員会	中基 昭 (診療部)	毎月の支払基金からの査定返戻事例をもとに保険診療上の問題点を検討し、保険請求する上で間違いのない保険診療を目指す。	第3月曜日
衛生委員会	大木勇司 (事務部)	・職員の健康保持増進、労働災害の防止に係わる対策を検討する。 ・労働安全に係わる諸規定の整備、相談窓口の充実化、ストレスチェックの実施。	第3月曜日
グループ連携・地域連携委員会	成田 薫 (事務部)	・佐倉厚生園病院グループが目的とする事業の遂行ならびに本邦で推進されている地域包括ケアシステムに対するグループ内施設の有効活用と各施設の経営安定化を目的とする。	偶数月 第1月曜日

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

会議・委員会			
名称	委員長 (所属部署)	目的	開催日
臨床検査適正化委員会	前田淑江 (医療技術部)	・検体検査における重要事項を審議し、管理運営の適正化を図る。 ・精度管理の確認および院内関連部署と検査室、双方からの要望、変更改善事項などを検討し報告する。	第3火曜日
システム管理検討委員会	佐々木憲裕 (診療部)	・診療上の運営を滞りなく速やかに実行するため、オーダーリングシステム、電子カルテを導入する。 ・医療従事者の負担を軽減するとともに患者のクレームを減らし、ミスの生じない業務を目指す。	第4火曜日
診療録管理委員会	伊藤恵美 (看護部)	診療録の適切な記録と管理を円滑に行うために、診療情報管理に係る諸問題を審議する。	第1水曜日
栄養給食委員会	及川野絵子 (医療技術部)	・嗜好調査に基づき患者の食事の改善を図る。 ・安心安全な食事を提供し、栄養状態の改善を図る。 ・褥瘡委員会とともに対象者に対する治療と予防のための栄養管理を検討、実施。 ・経腸栄養剤、栄養補助食品の適正利用の検討。	第3水曜日
ドック健診委員会	吉岡千晶 (健診部)	充実した医療サービスの提供を検討し、ドック健診業務の効率的な運営を図る。	奇数月 第2水曜日
医学研究推進会議	遠山和博 (診療部)	院内各部署から研究テーマ提出を促し、各研究の側面サポートを行う。また医学研究所より配分される研究費を予算内で効率的に活用できるように検討する。研究者から申請を受けた研究費用に関して審議 ・検討を行い、病院長の承認を経た後に医学研究所支援委員を通じて医学研究所へ提案を行う。	第2金曜日
外来運営委員会	佐久間伸介 (診療部)	・外来診療における業務の効率化および患者が利用しやすく感染予防に努めた環境づくりを図る。 ・病予予防、健康増進のため、新型コロナウイルス・インフルエンザ等の予防接種、健康診断の地域における公衆衛生活動において、円滑に行える体制を構築する。 ・外来患者数の増員および収益増収を目的とした提案をする。	第3金曜日
入院判定委員会	中 藁 昭 (診療部)	当院への入院に適する患者を周囲の医療機関の紹介患者から吟味選択し、早期入院につなげる。	随時
診療記録録等開示委員会	佐々木憲裕 (診療部)	外部より診療録の開示要求があった場合、その要求の正当性を審査するとともに個人情報保護を確保し、開示に応ずる。	随時
倫理・研究・諮問委員会	遠山正博 (診療部)	治験承認討議を行う。	随時
個人情報保護推進委員会	佐々木憲裕 (診療部)	職員向けに個人情報保護についての教育を実施し、個人情報が漏洩しないシステム作りを構築する。	随時
広報・ホームページ運用委員会	佐々木憲裕 (診療部)	・院内および院外に当院の情報を発信する。 ・当院の利用者に対し病院が行う内容を明示し、当院への受診を促すとともに、地域連携、患者教育に役立つ情報交換の場を提供する。	随時
物品購入(予算)委員会	成田 薫 (事務部)	各部署から提出される各種機器に対し、採算性、活用頻度、患者への貢献、職員への利便性などの要素をもとに審議を行う。	随時
帳票管理委員会	成田 薫 (事務部)	帳票類等の管理の円滑かつ公正な執行を図るため、運用面を検討した上での発注や在庫管理の一元化を目的とする。	随時
医療事故・異状死調査委員会	佐々木憲裕 (診療部)	医療上、生じた事故および死亡事故に関してその原因を調査する。その後、同様の事故が生じないように検討し、啓蒙活動を行う。	随時
防火・災害対策委員会	大木勇司 (事務部)	・設備の老朽化に伴う防災設備の更新。 ・各部署が院内における防火・防災対策を横断的に行い、有事の際、適切に対応できるよう整備する。	随時
医療ガス安全管理委員会	加藤昌宏 (事務部)	医療ガスの安全かつ適正な使用に向け、体制整備を行う。	随時